



梅雨でも楽しい学校に

6月になりました。かつて学級担任をしていた時に、子どもたちが係活動で、一年のうちで一番好きな月と嫌いな月のアンケートをしたことがあります。好きな月は、夏休みの8月とクリスマスの12月に二分しましたが、嫌いな月に6月を挙げる子どもが多かったのを覚えています。「雨が多くて外で遊べない」「祝日がない」というのが主な理由でした。6月生まれの私にとっては、少々残念な結果でしたが、だからと言って祝日を作ることはできませんので、せめて雨の日でも楽しく過ごせるよう、教室に雨の日だけ使える遊び道具や読める本などを一生懸命そろえた記憶があります。

たとえ雨の日が多かろうと休みの日が少なかろうと、学校に楽しい出来事がたくさんあれば、毎日が楽しいはずです。けれども、今年の6月の行事予定を見てみると、遠足や日曜参観などの特別な日が予定から消えてしまい、少しさみしい6月になってしまいました。さらに、国の緊急事態宣言が延長されたことから、通常の教育活動でも指導内容の制限が続きます。

しかし、学校では、そんな状況でもどんなことができるのか、またどうやったらできるのかを模索しながら取り組んでいます。今月下旬から始まるプール水泳もその一つです。プール水泳については、昨年度は、教育委員会より5年生と6年生のみの実施との通知がありましたが、今年度は全学年となりました。体育科の指導目標や内容は2学年ごとのまとまりですので、昨年プール指導のなかった学年は、今年学習することができます。

実施にあたっては、プールサイドやプール内で2mの間隔をとるために2学級ごとに実施することや、更衣時の密を避けるために更衣は半数ずつ行うこと等に加えて、教育委員会のマニュアルではマスクは更衣時に外すことになっているところを、本校では開始直前まで着用するなど、できる限りの感染対策を行うことにしています。そして、子どもたちが教員の指導の下に、きちんと行動することで、安全にプール指導ができると考えています。

なお、今年度のプール水泳については、水に対する経験値を増やすための取り組みとし、評価の対象とはしません。水泳学習に不安のある場合は、参加を見合わせてください。

梅雨が明けるのはまだ先ですが、落ち着いた状況がやってくるのはさらにその先でしょう。それまで子どもたちの毎日を充実させながら、安全で楽しい学校にしていきたいと思っています。子どもたちの体調管理等、引き続きご協力をお願いいたします。



【裏面もどうぞ】

子どもたちの学びの保障について

緊急事態宣言に伴う、短時間登校の対応にご協力いただきありがとうございました。先週より通常の授業が再開され、いつも通りの学校の風景が戻ってきました。

短時間登校について、堀江小学校では、それぞれの学年の発達段階に応じて、できることをできる限り行ったつもりですが、見えた課題は、改善に向けて取り組んでいきたいと思っています。

さて、その短時間登校による学習時数減を補完するために、先日、大阪市教育委員会より、「計画的に授業時数を確保しつつ、本年度中に当該学年の学習内容を修了すること」との通知があり、今後の教育活動計画を再度検討しました。

その結果、本校では、年間の総時数が学習指導要領の標準時数を上回り、かつ学習内容が修了できることを確認しましたので、週当たりの授業時数は増やさず、土曜授業の実施や学校行事の精選等で対応することにしました。



1. 授業は、現在の時間割どおりに続けます。

1年生：週25時間 2年生：週26時間 3年生：週28時間 4～6年生：週30時間

2. 土曜授業（3時間）を3回実施します。

1学期は6月19日(土)です。緊急事態宣言中ですが、学校は通常学習を行っていますので、予定どおり実施します。2学期以降は後日お知らせします。

3. 夏季休業等の短縮はしません。

1学期終業式：7月19日(月) 2学期始業式：8月25日(水)・終業式：12月23日(木)

3学期始業式：1月11日(火)・修了式：3月23日(水)（始業式は午前中3時間です。

終業式と修了式は給食があり、時間割どおりのため下校時刻は学年によって違います。）

4. 音楽科・図画工作科・体育科等の実技を伴う教科は、学習内容の履修を優先させるため、1・2学期をまとめて評価します。

※今後臨時休業等で、さらに授業時数が減少した場合は、変更することがあります。



あいさつ



毎朝門の前に立って、子どもたちとあいさつをしています。堀江小学校はたくさんの子供が通うので、以前数えてみたら、1日平均で 600回くらい「おはようございます」と言っていました。年間で計算すると10万回以上。おそらく日本一「おはようございます」と言っている校長ではないかと密かに自負しています。

今年から、正門代わりに車道に面した通用門に登下校に使っているため、安全面を考えて下校の時間にもできる限り立つようにしています。最近では、あいさつだけでなく、じゃんけん勝負を挑んでくる子もいて忙しいけれども楽しいです。5月の全校朝会で、「今年の校長先生のあいさつは去年と比べて少し変わりました、さてどこでしょう？」と話したところ、ずいぶんこちらを見てあいさつしてくれる子が増えたように思います。それが狙いではなかったのも、うれしい誤算です。答えは、来週にある6月の全校朝会で発表するつもりです。

あいさつは社会に向かう第一歩だと思っています。堀江小学校の子どもたちが、ていねいなあいさつのできる人になれるよう、これからも「おはようございます」と声をかけ続けたいと思います。